

令和7年 第15回

# 仙北市教育委員会定例会会議録

令和7年9月18日

仙北市教育委員会

令和7年 第15回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和7年9月18日（木） 午後2時30分

2 場 所 西木総合開発センター 2階 集会室

3 出席委員

|          |        |
|----------|--------|
| 教育長      | 須田 喬   |
| 教育長職務代理者 | 坂本 佐穂  |
| 委員       | 橋本 勲   |
| 委員       | 細川 伸也  |
| 委員       | 田口 桂一郎 |

4 出席した事務局職員

|                |        |
|----------------|--------|
| 教育部長           | 阿部 聡   |
| 教育次長           | 斉藤 丈彦  |
| 教育総務課長         | 大石 基   |
| 学校適正配置準備室参事    | 梅田 昌輝  |
| 学校教育課長         | 戸嶋 雅美  |
| 北浦教育文化研究所長     | 武藤 洋史  |
| 総合給食センター所長     | 栗原 由紀子 |
| 生涯学習課長         | 草薨 直子  |
| 中央公民館長         | 佐藤 文恵  |
| 田沢湖公民館長        | 畠山 裕子  |
| 角館公民館長         | 千代 雅和  |
| 市民会館長兼田沢湖図書館長  | 信田 昌史  |
| 学習資料館・イベント交流館長 | 伊藤 香   |
| 平福記念美術館長       | 小松 亜希子 |

5 議事

(1) 報告事項

報告第31号 仙北市議会一般質問について

6 審議の経過及び結果

(教育長)

これより、令和7年第15回仙北市教育委員会定例会を開催いたします。  
それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介します。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には、齋藤課長補佐と伊藤主任を任命します。署名員は、私と委員から坂本教育長職務代理者を指名します。前回の会議録の承認についてですが、定例会については橋本委員、会議が終わり次第、署名をいただきます。

教育長挨拶ということで、本日は、私の方から2点報告させていただきます。

1 点目が、市制 20 周年記念式典の子どもたちの活躍についてです、この式典の開催にあたり、市長の強い思いもあり、中学生による意見発表と小学生の市民歌斉唱の要請がありました。教育委員会としても事務局で全精力を注ぎ取り組みましたが、当日多くの方々から素晴らしい発表と歌声であったとお褒めの言葉をいただきました。中学校の意見発表は、「つなぐ つながる 私たちの仙北市 未来へのバトン」がテーマでした。各校の代表生徒が仙北市の自然や伝統行事、伝統工芸、ボランティア活動などについて具体例を挙げながら地元の魅力を紹介し、最後に神代中学校が総括した後に、これからの仙北市の進むべき方向性や自分たちができることについて提言しました。また、二分の一の成人式を迎えた 4 年生が市民歌を披露しました。未来の仙北市を担う子どもたちの発表、歌声に出席した方々全員から大きな拍手が寄せられました。きっとこの子どもたちは「ヤマメ・サクラマス」となって仙北市を背負ってくれるものと思います。

2 点目が、9 月 1 日に行われた学校適正配置検討委員会についてです。この会で、鎌田委員長から、それぞれのパターンについて議論した後、事務局から案をまずは出し、それを全員で協議して一定の方向性を出すべきだ。何も原案がない状態で保護者や住民との意見交換会に臨んでも意見は堂々巡りで終わってしまうという助言をいただきました。そこで、市内勤務の先生方の意見やこれまで教育委員会の協議会で出された意見をもとに、統合 3 校案、4 校案について、また、統合年度の 10 年度案と 11 年度案のメリット、デメリットについてを報告し、それぞれについて意見をいただきました。活発な意見交換が行われた後に、事務局からの案として 4 校案、11 年度統合案を提案しました。この案について一人ひとりから意見をいただきましたが、全会一致で 4 校案、11 年度統合案が承認されました。生保内地区の代表者も数名おりましたが、子どもたちのことを考えた場合に 4 校案しかないということでした。この案をもとに、これから行われる意見交換会に臨み、さらなる意見をいただくつもりです。

次に教育長報告についてです。

－資料にて説明－

それでは審議案件に入ります。報告第 31 号仙北市議会一般質問についてお願いします。（阿部教育部長）

仙北市議会一般質問についてご説明申し上げます。議案綴の 2 ページをご覧ください。荒木田俊一議員からのご質問であります。

仙北市が誕生して 20 年経つが、合併時、市民が思い描いた状況とはかなり後退している現状と思う。との柱の中で、4 点目の質問として、今後、小・中学校の統合が進んでいく中で児童、生徒達にどういう形で夢や希望を与えていくのか。との質問がありました。このご質問に対しまして、平成 17 年に仙北市が誕生した当時の児童生徒数は 2,317 人で、今年度は 1,195 人で、この 20 年間で、約半減している。急激に子どもの数が減少していく中で、将来にわたり持続可能で充実した教育環境をつくるため、学校適正配置準備室を設置し、将来に目指す学校像として「学校適正配置方針」を策定したこと。方針の中では、「確かな学力の向上」、「思いやりの心と健やかな体を育み、命を大切にする教育の推進」、「地域に根ざしたふるさと・キャリア教育の充実」「切磋琢磨しながら、多様性を認め合い、柔軟性を育む環境の構築」の四つを目指す学校像の基本方針とし、今年度内の計画策定を進めていくことを説明した後、学校統合が進む中、児童生徒にどのような形で、夢や希望を与えていくかについては、子どもたちだけでなく、全ての世代がふるさとに誇りや愛着を持ち、創造性あふれるまちの主人公である意識を高める取り組みが必要と考えていること。教育委員会としては、「ふるさとを愛し、豊かな心・確かな学力・健やかな体を持ち、未来の地域や社会を支える意欲と高い志にあふれる子ども」の育成、

「骨太の人間の育成」、「仙北市プライドの醸成」を強力に推進していくことが、子どもたちの夢や希望の実現につながっていくと考えていること。

重点施策として、自分の将来の夢と結びつけて、仙北市の未来を考える子どもを育成するための「ヤマメ・サクラマスプロジェクト」、学校と地域が一体となって、子どもたちを育むための「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の推進。子どもたち自身が地域の良さや課題について主体的に考え、仙北市をより良くしていくための活動、「仙北市子どもサミット」の三つの事業に力をいれ推進していくこと。これらの推進により、小・中学生が、仙北市で働く人々の力強さや魅力に触れ、ふるさとで働くことに理解を深めるとともに、本市の課題解決に主体的に取り組む経験を通じ、本市を舞台に夢や希望を持ち、未来を担う気概や実践力を育んでいきたいという答弁をしたところです。

一般質問への答弁内容は以上でございます。

(須田教育長)

よろしいですね。

その他に入ります。いじめ、不登校対策についてお願いします。

(武藤北浦教育文化研究所長)

8月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

はじめにいじめについてです。8月は小学校0件、中学校4件でした

続いて、8月の不登校児童生徒についてですが、小学生5名、中学生25名、計30名となっております。

8月はスペース・イオの活用が3名、さくら教室の活用が0名でした。また、角館中学校校内教育支援センターの活用は5名です。

以上が、8月のいじめ、不登校の状況です。

(須田教育長)

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてお願いします。

(大石教育総務課長)

別冊の令和7年第12回定例会会議録をご覧ください。

－資料にて説明－

誤字脱字等ありましたら、私の方まで教えていただきますようお願いします。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

次に学校適正配置準備室から報告についてお願いします。

(梅田学校適正配置準備室参事)

先程の教育委員会協議会で、9月1日に行われた適正配置検討委員会の報告と、9月4日、16日に行われた第1回、第2回、桧木内地区意見交換会の様子について報告させていただきました。また、10月に予定している生保内、神代、西明寺、桧木内の各地区での市民意見交換会についてもお知らせしました。

(須田教育長)

その他ありますか。

(大石教育総務課長)

来月10月の定例会についてですが10月16日(木)午後1時30分から協議会、2時30分から定例会を開催いたします。また、10月30日(木)の2時から西木庁舎の201会議室で協議会を予定しております。

(小松平福記念美術館長)

10月1日から平福記念美術館では、企画展「思いを馳せる100周年－旧制角館中学

校創立１００周年記念展－」を開催予定です。今年は旧制角館中学校、現在の角館高等学校創立１００周年にあたります。旧制角館中学校を角館町に誘致するために、日本画家であります平福百穂が、大変尽力した経緯もあり、現在旧制中学校跡地に、美術館が建てられていることは大変意義深いことと思っております。この１００周年を記念するべく、当美術館で、角館高等学校を卒業しました郷土作家作品の展覧会を企画しました。角館高校の卒業生として、展示予定の作家は、旧制中学校の第４期卒業生である田沢湖出身の日本画家、伊藤昇をはじめとしまして、三河義太郎、佐藤元彦、佐々木裕久さんの作品です。それから現在、現役でも活躍されています日本画家の山田美知男さん、イラストレーターの佐藤待子さん、絵本作家として活躍されている藤嶋えみこさんといった方々の作品を展示予定です。

常設展示室では、百穂の作品を中心に旧制角館中学校の校歌を制作する際に、百穂が作詞を依頼しましたアララギ派を代表する歌人、島木赤彦を中心としたアララギ歌人の詩も数点展示する予定です。是非、この機会に過去から現在に続く角館高校とつながりの深い作家の作品をご鑑賞いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

(伊藤学習資料館・イベント交流館長)

同じく、創立１００周年記念としまして、角館高校同窓会にご後援をいただき「百穂とアララギの歌人たち」ということで企画展を開催しております。是非ご覧いただければと思います。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

それではこれで、令和７年第１５回仙北市教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

(閉会宣言：午後２時５５分)